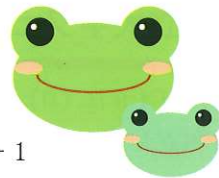


学生活動支援センターニュース「かえるのうた」



平成 21 年 10 月 発行 第 3 号

発行 / 山口県立大学 学生活動支援センター 〒753-8502 山口市桜島 3 丁目 2 - 1

TEL 083-928-3478 FAX 083-928-5769 <http://blog.ypu.jp/gakukatsu/>

～ボランティア窓口ができました!～

6 月より、学生活動支援センターにボランティア窓口を新設しました。学生の皆さんにとってはキャンパスライフのサポーターとして、また地域や依頼団体の皆さんにとっては、学生・大学とのかけ橋としてコーディネーターを 1 名配置しています。

ボランティアと聞くと何となく特別なイメージを持たれる方もおられるかもしれませんが、全学部・全学年の学生たちが活動を通して、やりがいを感じながら新しい発見をし、地域で困っていることが解決されたり、みんなで一緒に喜んだり出来れば、良いと考えています。お気軽にお立寄り下さい。

学生活動支援センターボランティア窓口 (担当: 高崎)

TEL 083-928-3476

FAX 083-928-5769

MAIL gakubora@ypu.jp

<http://blog.ypu.jp/gakukatsu/volunteer/>



湯田地域交流センターで開催された「第 2 回西京老人だいがく」での食生活に関するミニレクチャーと、その後の懇談会。



8 月に開催された小学校 4 年生以上を対象にした環境学習講座「エコっこスクール」でのボランティア活動の様子。



大活躍!

給水ボランティア隊

7 月 21 日 (火)、山口県を集中豪雨が襲い、山口市、防府市内の各地で目を覆いたくなるような被害がありました。学生たちも断水などで困っている中「何か出来ることをしよう」と桜翔館に集まりました。

学内で“断水中の生活ノウハウ”や“トイレの流し方”などの情報提供を行った後、日頃からお世話になっている宮野地区の宮野小学校、宮野下県営住宅の 2 か所の給水所にて活動させていただきました。授業の合間を利用して現地で出来ることを探しては、給水や運搬などのお手伝いをさせていただきながら、地域の皆さんや学生同士の繋がりを感じるなど、大きな何かを得た 1 週間でした。

「1 人では出来ないこともみんなでやれば出来る!

そう実感出来た 1 週間でした (^-^)

(参加した学生から寄せさせたメッセージ)



小学生のための なつやすみの宿題 楽しく学ぼう会を開催しました

8 月 19 日 (水) ~ 21 日 (金) の 3 日間、桜翔館で「小学生のための なつやすみの宿題楽しく学ぼう会」を開催し、大学生ボランティア 13 名が小学生のドリルや読書感想文などの宿題のお手伝いをしました。

勉強の合間には、頭のリフレッシュとお楽しみを兼ねたレクリエーションとして、英語でのフルーツバスケットやキャンパス探検などをしました。

3 日間で延べ 61 名の小学生が参加し、最後にひとりずつに修了証と記念写真が渡され、宿題勉強会を無事に終了する事が出来ました。小学生の皆さんにとっては、宿題を終えた達成感はもちろん、普段見られない大学の中をほんの少しでものぞけて、新鮮な気持ちを味わうことが出来たようでした。そして、ボランティアの学生たちにとっても、小学生との触れ合いを通して、充実した 3 日間となりました。



県立大学フェスタ2009

7月19日(日)、本学にて「県立大学フェスタ2009」を開催しました。

県立大学フェスタとは、ステージ発表、展示・体験コーナーなどのプログラムを通して、学生の自主活動やサークル活動を間近で見られる県立大学のイベントで、今年で2回目を迎えました。今年オープンキャンパスと同時開催となり、高校生・保護者の方を中心とした、およそ700名の方が訪れました。

厚生棟前広場では音楽系サークルなどのステージ発表が行われました。お天気が心配されましたが、開演時間に合わせるように太陽が顔を出し、少し暑いぐらいの日差しの中、吹奏楽団BLAZEの演奏でステージが始まりました。手話サークルによる手話歌では、一緒に手話に挑戦する高校生の姿も見られました。最後は奄美連合萩組による元気いっぱいのおよそ700名の方が訪れました。

また、体育館ではパネル展示などで、学生によるさまざまな自主活動の紹介が行われました。身近なエコについて考えるワークショップやプチ韓国語講座など親しみやすい内容の活動紹介も多く、高校生たちが見入っていました。

その他の会場では茶道部によるお点前体験、タンデムの試乗などの体験コーナーが人気を集め、フェスタを通して大学生と訪れた人の距離も縮まったようです。エコチャリのテント前では、大学生と高校生がすっかり打ち解け、明るい笑い声が絶えませんでした。ピアサポートによる相談コーナーでは、訪れた高校生が大学生生活についてさまざまな質問をする姿が見られました。

県立大学フェスタ2009を通じて、普段見ることが出来ない学生の自主活動を、より多くの人に知っていただくことが出来ました。



BLAZEの演奏で、一気にフェスタのムードに。会場を盛り上げました。



厚生棟前は、丁度風食に訪れた人も巻き込んで、大賑わいでした。



厚生棟和室では、茶道部のお点前体験が行われました。



エコアクション21学生委員会のブースでは、水の飲み比べなどのエコワークショップを行いました。



時々強い日差しが降り注ぎ、暑いぐらいでしたが、お天気に恵まれ無事開催出来ました。



災害ボランティアは活動紹介と蒸しパンの焼き出しをして、来場者に試食してもらいました。



手話サークルは流れるような手の動きがきれいでした。



TFFは先進国と発展途上国の「食」の問題を考える取組の紹介をしました。



ヴァーチャル韓国生活と題して、韓国と日本の文化の違いを紹介しました。



タンデムは高校生を乗せて、D館前広場を周遊していました。



ピアサポートによる相談コーナーも高校生に人気でした。



お弁当の日のブースでは、活動の紹介とともに、学生による手作りのお弁当の写真も展示しました。

学生スタッフ制度

大学運営業務に学生が有償のスタッフとして参画することでミニ社会体験をし、人間関係力を向上させることを目的とした活動です。前期は多くの学生が、学生スタッフとして活動しました。



国際文化学部 国際文化学科4年
井原 正太郎
(大学広報用のビデオ撮影補助)

今回は、大学広報用のビデオ撮影補助スタッフをさせて頂きました。趣味として、写真を撮ったり、大学祭でビデオを使ってDVDにした経験はありましたが、実際に「広報活動用」に素材としての動画を撮り、編集するのは初めての経験でした。多くのテレビ局と同じ専用の動画編集ソフトを使い、編集を行いましたが、ソフトの使い方は分かっていても、「どこでどういった映像を使うとどのような印象を人に与えるか」などといった、経験に基づかれたノウハウを今回のスタッフ活動を通じて学ばせていただきました。

今回のスタッフ活動を通じてマスコミ、特にテレビにおける報道のテクニックが学べ、「事実をどのように映像にしているか」について、一歩下がった視点から冷静にテレビを観るようになりました。

～平成21年度前期の学生スタッフ活動～

- ・入学式運営補助(4月)
- ・ミニオープンキャンパス運営補助(6月)
- ・オープンキャンパス学科事業補助、運営補助(7月)
- ・第1回学内合同就職ガイダンス(7月)
- ・図書館司書業務(8月)
- ・夏季高校生講座(社会福祉コース)(8月)
- ・教員免許状更新講習(8月)
- ・シャッター倉庫整理業務(8月)
- ・大学広報用のビデオ撮影補助(8月～10月)

YPUドリームアドベンチャープロジェクト2009

大学生生活をより良くするために学生・院生が自分たちの力を発揮する場として、平成18年度から「YPUドリームアドベンチャープロジェクト」を実施しています。YPUドリームアドベンチャープロジェクトとは、大学生生活をさらに楽しく、豊かにするために、学生(個人やグループ)が自主的に企画・運営する独創的で魅力的なプロジェクトに対して大学が費用を補助することで、夢の実現を支援する事業です。

今年度は6件のプロジェクトが採択され、現在活動中です。1月には成果報告会を行います。

～平成21年度採択プロジェクト(全6件)～

- ◀A部門>採択数:5件
- ・YPU TFF PROJECT ～To もにFu れあいTsu ながろう～
 - ・ぶちええじゃんぶろぐ型山口マップ 韓国語版
 - ・La ferme de cerises ～県大ばだけ～
 - ・ピアサポーターによる『県大ライブサポートマップ』制作!!
 - ・“すきっちゃんズキチ”プロジェクト
- ◀B部門>採択数:1件
- ・県大生クリエイターの実績づくりをしよう!



「YPU TFF PROJECT
～To もにFu れあいTsu ながろう～」

6月30日に、学内で全学生対象に現代世界の食糧事情とTFFとは何かについての勉強会を開催しました。



「La ferme de cerises ～県大ばだけ～」

体育館横に作った畑で、オクラやさつまいもを栽培しています。ペットボトルを利用したジョウロで、毎日水やりをしています。

インターンシップ制度

正課インターンシップ以外にも、学内インターンシップ、課外インターンシップを奨励しています。学外関連団体とセンターが連携することにより、多くの学生に対して実社会で実践的なトレーニングを行う場を提供するのが目的です。平成21年度前期は、26名の学生がインターンシップを行いました。10月1日には成果報告会が開催されます。

～平成21年度前期のインターンシップ生～

- ・共通教育科目「インターンシップ」受講生 8名
 - ・課外インターンシップ生 14名(学生活動支援センター経由でのインターンシップ)
 - ・学内インターンシップ生 4名(附属地域共生センターでの短期インターンシップ)
- (合計26名)



講習会・イベント

第1回AED講習会を開催しました

5月15日(金)日本赤十字社 山口県支部から2名のインストラクターをお招きして、学習室でAED講習会を開催しました。参加者は11名で、前半はパンフレットを見ながら説明を受けました。

倒れている人に遭遇した際には、まず、状態の観察と意識の確認から始めます。「倒れている人は、頭と首に衝撃を受けているので、頭と首を守って、仰向けにする」や「かかとを動かさないようにしながら、ひねられた下半身をまっすぐにする」など、AEDを使用する前にどのように対応すれば良いか説明を受けた後、グループに分かれて実技を行いました。

後半は、実際に人形を用いて、AEDの使い方を実践しました。

AEDの使用の際は、音声に従いながら所定の位置に電極パッドを貼り、救助者は傷病者から離れます。AEDが「ショックは必要ない」とアナウンスしても、人間が確認するのが一番正確だそうです。呼吸を確認し、息をしていなかったら、救急車が到着するまでは人工呼吸と心臓マッサージを続けます。心臓マッサージは両手で体重をかけながら行いますが、一定のペースを保って継続するのがポイントです。

この日行ったのは「標準型実技」でした。参加者は、休み時間にもインストラクターに質問するなど、積極的な姿勢で講習会に臨んでいました。

備えあれば、憂いなし！AEDをさまざまな場所で見かけるようになりましたが、正しい知識と技術を身につけて、いざというときに備えたいものです。第2回も計画中です。今回受講出来なかった方も、ぜひ参加してみてください！



護身術体験セミナーを開催しました

6月24日(水)、山口県警察本部、山口警察署のご指導のもと護身術体験セミナーを開催し、25名の学生が参加しました。

はじめにレクチャーとして、今年の犯罪発生率については昨年と同様であることや、防犯については、学内であっても自転車の施錠は必ずすること、帰宅の際に鍵を開けるときは、必ず後ろを確認することなど、すぐに実践できることからお話しいただきました。

実践を伴う護身術では、「護身術は、あくまで逃げるきっかけをつくるもので、相手を倒す術ではない」こと、「相手が向かってきたら、直線や円の動きで力を逃がす」ことなどを、現役の警察官の皆さんが熱心にご指導くださいました。

参加者からは「初心者でも簡単に出来た」「また開講して欲しい」などの意見が寄せられました。



～後期の事業、イベントなど～

- 学生スタッフ制度 (10月～3月)
 - ・ 合同就職ガイダンススタッフ
 - ・ 放置自転車判別のための全自転車への札付け他
 - 課外インターンシップ募集 (11月～)
 - GP合同フォーラム (11月14日)
 - 第2回 AED講習会
 - ボランティア講座
 - YPUドリームアドベンチャープロジェクト2009 報告会 (1月中旬) など
- ～詳細は掲示・ホームページをご覧ください～

キエフ・ナイチンゲール合唱団 チャリティーコンサート山口公演

キエフ第29音楽学校の9歳～17歳までの少女10名からなる合唱団です。愛と祈りの歌声は、ウクライナでも高く評価されています。このコンサートは、医療支援を目的としたチャリティーコンサートです。

日時 平成21年11月2日(月)
 開場 18:00 開演 18:30 (終了予定時刻 20:00)
 場所 山口県立大学講堂
 入場料 大学生/500円 一般/1000円
 曲目 アペマリア、ウクライナの歌曲民謡、涙そうそう他
 主催 キエフナイチンゲール合唱団チャリティーコンサート
 山口公演実行委員会
 後援 山口県立大学 山口県立大学校友会他

★チャリティーコンサートでの運営ボランティアも募集しています。詳しくはボランティア窓口まで。